

各日本語教育機関
設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤次郎

令和5年度文化庁委託主任教員研修の開催について(ご案内)

当協会の運営につきましては、日頃より御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

当協会では、日本語教育機関における主任教員の資質・能力の向上を図るため、平成15年度から主任教員研修を実施し、多くの方から高い評価を受けております。本研修事業は、令和元年度は「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を行い、令和2年度以降は「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」として、東京だけでなく大阪でもテレビ会議システムによる同時開催やフルオンラインでの研修も実施いたしました。令和5年度からは「現職日本語教師研修プログラム普及事業」として主任研修を実施いたします。新任主任教員からベテラン主任教員まで幅広いキャリアの方に対応した新たな研修プログラムにて研修を実施していますので、過去の主任教員研修にご参加の経験がある方でも受講申し込みが可能です。

今年度も昨年度に引き続き、より受講者のニーズに沿った研修体制を構築するために、研修②、③(本ご案内第2頁「研修内容」参照)の日程を東京会場にて対面で実施する[Aコース]と、すべての研修がオンラインで完結する[Bコース]の2つのコースを用意いたしました。もちろん、どちらのコースも日本全国からご参加いただけます。

また、オンデマンドによる事前学習を多く取り入れるなど、集合研修での成果をより高めるための工夫がされており、さらに、今年度は新たな試みとして研修④、⑤にて各参加者が自校の教育の質向上のための取り組みを発表する機会を作り、より質の高いフィードバックが得られるように集合研修後のフォローアップも強化するなど、より密度の濃い研修プログラムとなっております。

受講希望者におかれましては、7月14日(金)までに、所定の応募方法にて、ご応募くださるようお願いいたします。

日程表【別紙1】は、当協会ホームページにも掲載しております。

記

令和5年度文化庁委託主任教員研修

《令和5年度 主任教員研修の特徴》

- ▶ 「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」の成立により、ますます注目が集まる「日本語教育の参照枠」や「日本語教師の人材育成」について理解を深める事ができる
- ▶ 現場の“今”を意識した研修プログラムにより、過去の研修受講者が再度受講しても満足できる研修である
- ▶ グループワークでは経験別や所属学校の属性別のグループを構成することにより、多様な受講者の満足度を保証する


《令和5年度 主任教員研修のねらい》

- ◆ 「日本語教育の参照枠」の理解とその活用事例を知る
- ◆ 人材育成の目的や考え方を知り、自校が求める教員像に近づけるための育成方法を考え実践する
- ◆ 今の悩みを共有できる仲間や相談できる先輩主任とのネットワークを獲得する

定員	70名
----	-----

参加資格	<p>以下の(1)～(3)のいずれかの条件を満たす方</p> <p>(1) 告示校の主任教員</p> <p>(2) 告示校で3年以上の常勤教員経験を有する主任教員予定者</p> <p>(3) 告示校開校準備中の主任教員予定者</p>
参加要件	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の全日程に参加できる方 ※参加決定後のコース変更は不可 ・オンライン集合研修において、静かで研修に集中できる環境から参加できる方 ・インターネット環境が整っており、PCで研修に参加できる方 ※スマホやタブレットからの参加は不可 ・自校にて実際に課題改善を行い、その取り組みを発表し、研修レポートとして提出できる方
研修の概要等	
研修内容	<p>本研修は事前学習 17 単位と、集合研修 29 単位と、事後課題 4 単位で構成されています。事前学習は、オンデマンド学習とレポート提出などの事前課題があります。集合研修は、zoom によるオンライン研修を行います。ただし、A コースは研修②、③を対面で行います。</p> <p>研修①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講式、オリエンテーション ・プレセッション ・セッション 1 「先輩主任に聞いてみよう」 ・セッション 2 「最新の日本語教育施策を知ろう！」 (出入国在留管理庁、文化庁、日本語教育振興協会による講義とグループ討議) <p>研修②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション 3 「学校の課題、私の課題」 ・セッション 4 「理想の教師像から考える人材育成のデザイン」 ・セッション 5 「ケーススタディ “主任に求められる問題解決能力とは”」 ・セッション 6 「日本語教育機関の組織マネジメント」 <p>研修③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション 7 「Can do で描く、私が目指す理想の主任像」 ・セッション 8 「『日本語教育の参照枠』を知ろう！」 ・セッション 9 「より良い学校づくりのための私のアクションプラン」 <p>研修④</p> <p>セッション 10 「アクションプランの実践経過報告会」</p> <p>研修⑤</p> <p>セッション 11 「アクションプランの成果報告会」</p>
A コース 日程	<p>事前学習提出期限：8月25日(金)</p> <p>研修①：09月02日(土) 12:15～17:30 オンライン ※Aコース、Bコース合同開催 研修②：09月08日(金) 09:45～18:55 東京会場 研修③：09月09日(土) 09:30～17:35 東京会場 (研修②、③の会場) 国立オリンピック記念青少年総合センター https://nyc.niye.go.jp/ 研修④：10月28日(土) 14:00～16:15 オンライン ※Aコース、Bコース合同開催 研修⑤：12月02日(土) 14:00～16:45 オンライン ※Aコース、Bコース合同開催</p> <p>研修レポート提出期限：2024年1月08日(月)</p> <p>詳細は【別紙1】をご参照ください。</p>

<p>Bコース 日 程</p>	<p>事前学習提出期限：8月25日(金)</p> <p>事前説明会：8月26日(土) 15:00～17:00 オンライン (任意参加) ※フルオンラインでの研修向けのツールの使い方などの説明を行います (Bコースのみの日程です)。</p> <p>研修①：09月02日(土) 12:15～17:30 オンライン ※Aコース、Bコース合同開催 研修②：09月22日(金) 09:45～18:55 オンライン 研修③：09月23日(土) 09:30～17:35 オンライン 研修④：10月28日(土) 14:00～16:15 オンライン ※Aコース、Bコース合同開催 研修⑤：12月02日(土) 14:00～16:45 オンライン ※Aコース、Bコース合同開催</p> <p>研修レポート提出期限：2024年1月08日(月)</p> <p>詳細は【別紙1】をご参照ください。</p>
<p>研修実施者 一覧 (五十音順)</p>	<p>平岡 憲人 委員長 (清風情報工科学院 校長) 青柳 恵 委員 (ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 教務主任) 一条 初枝 委員 (ヨシダ日本語学院 校長) 内田 さつき 委員 (コミュニケーション学院 校長) 亀田 美保 委員 (大阪YMCA日本語教育センター センター長) 國田 久子 委員 (桜丘国際日本語学校 主任教員) 栗本 久美 委員 (平成医療学園専門学校日本語学科 学科長 (教務主任)) 澤井 美智子 委員 (大阪みなみ日本語学校 教務主任) 神 恵介 委員 (新世界語学院 校長) 辻 和子 委員 (ヒューマンアカデミー(株) 国際教育事業部教室 日本語教育顧問) 土屋 理恵 委員 (清風情報工科学院 副校長) 戸川 朝子 委員 (南大阪国際語学学校 校長) 野村 智恵 委員 (前ヨシダ日本語学院教務主任) 三宅 ひとみ 委員 (大阪みなみ日本語学校 教務副主任) 山田 貴彦 委員 (ミッドリーム日本語学校 校長)</p> <p>加藤 早苗 講師 (インターカルト日本語学校 校長) 神吉 宇一 講師 (武蔵野大学大学院 教授)</p>
<p>研修参加費</p>	<p>10,000円(消費税込)</p>
<p>研修レポート</p>	<p>A4判で2枚(2401～3200字)の研修レポートをWordで作成し、WordとPDF化したものを所定の方式で2024年1月8日(月)までに提出していただきます。</p>
<p>修了要件</p>	<p>以下の要件(1)(2)(3)全てを満たすこと</p> <p>(1) 成果発表会(セッション11)で最終的な研修成果を定められた規定に従い発表すること</p> <p>(2) 成果発表会後に研修レポートを定められた規定に従い提出すること</p> <p>(3) 全50単位時間中、40単位時間以上(1単位時間は45分)を取得すること</p>
<p>単位認定条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題においては、課題の指示に従って学習が完了していること ・集合研修①～⑤においては、各セッション毎に90%以上出席していること <p>※移動しながらの研修受講や、他の業務と並行しての研修受講は単位として認めない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果発表会においては、評価がS、A、B、Cの内、B以上であること ・研修レポートにおいては、評価がS、A、B、Cの内、B以上であること

<p>応募方法</p>	<p>受講希望者は、下記の Google フォームから応募してください。</p> <p>URL&QR コード https://forms.gle/FTooDjC8Enh4k59U6</p>  <p>※Google フォームを受理したら必ず 3 営業日以内に日振協から返信します。返信が無い場合は、届いていない可能性がありますので、電話でお問い合わせください。 ※研修参加費等の支払方法については、追って受講決定者にご連絡いたします。</p>
<p>成果</p>	<p>修了された方には修了証書を発行し、修了者名簿は文化庁 HP に掲載されます。また、研修修了を日本語教師として履歴に明記することができます。 なお、本人の希望で文化庁 HP への掲載は不掲載にもできます。</p>



担 当：評価部 野田・塩原
T E L：03-6380-6557
E メール：shuninken@gmail.com